

# FOREST しぼ

10月10日(木)に伊豆市立修善寺東小学校4～6年生の「森林学習」(講座制クラブ活動)の第3回目を実施しました。

この活動は、十数名の児童のグループが順番に様々なクラブ活動を行うもので、伊豆森林管理署では森林学習(森林教室・木工教室)の講座を担当しています。今回からは、季節に合わせて木の实を使った工作を実施することとしました。



## 木の实等を使ったクラフト体験①

伊豆市立修善寺東小学校



グルーガン(ホットボンド)を使って慎重に作業します

今回からは、木工教室の内容を間伐材と木の实を使ったクラフト体験としたため、前半の森林教室では、間伐の大切さや間伐材の利用についての内容に加え、松ぼっくりの性質(松かさか水に濡れると閉じる)についてもお話ししました。  
飲み口よりも大きな松ぼっくりが中に入ったペットボトルを見せて、「どうやって中に入ったのでしょうか?」と問いかけたところ、ほとんどの子は「えー?」と不思議そうな顔をしていましたが、何と正解を知っている子が1人いて驚きました。

なぜ松かさが開いたり閉じたりするのか、簡単にマツの生存戦略についても触れつつ説明しました。  
続いている木工教室では、材料を自由に組み合わせ、思い思いの作品を作りました。材料としては、間伐材の輪切り、松ぼっくり(色づけしたものも含む)、ドングリやヤシャブシの实、クリ、各種ビーズ等を用意しました。  
松ぼっくりをカラフルにマジックやビーズで飾り付けている子や、松ぼっくりにクリや葉っぱ等をくっつけて生き物(?)を作っている子など、見ていておもしろかったです。  
最後には班ごとに自分の作品について発表してもらいました。短い時間でしたが、様々な工夫をこらした作品がたくさんできました。次回もとても楽しみです。(ぴこ)



クワをかぶったカエル?!



材料がたくさんあって迷っちゃう!



班ごとに作品の発表をしました



節をうまく活かした作品

(おまけ)みんなの作品集など

